

21019 地域福祉論 Studies in Regional Welfare		2 年次～ 通年 4 単位	
担当者	榊原 美樹	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	福祉主・社福士必・精福士必 (W) 福祉主 (E・Pe・Pc・C・F・N)
サブタイトル	社会福祉法時代の地域福祉推進の理論と方法		
授業内容 ・ ねらい	<p>2000年の社会福祉法の制定などにより、「地域福祉」が注目を集めるようになっていきます。しかし、その概念や定義を簡潔に示すことは容易ではありません。</p> <p>本講義ではどのような発想から地域福祉という概念・考え方が構築され、どのような課題に対応するものとして実際に展開してきているのか、理論と実践の両側面にわたって包括的に学んでいきます。また、地域福祉の推進組織やサービス・計画等について現状と課題を紹介し、今後の展望を考えていきます。</p> <p>それにより、①地域福祉の考え方について理解する、②地域福祉に関わる組織・計画等について理解する、③地域福祉に携わるソーシャルワーカーとしてのあり方について考えることを目標とします。</p>		
授業計画	<p>【1. 地域福祉の基本概念】 第1回 インTRODクシヨン 第2回～第3回 地域福祉の基本的考え方 第4回～第5回 地域福祉の発展過程 第6回～第7回 地域福祉の主体と対象 第8回 まとめ：地域福祉の基本概念</p> <p>【2. 地域福祉の推進方法・推進組織】 第9回～第11回 地域福祉の推進方法 第12回～第14回 地域福祉の推進組織 第15回 まとめ：地域福祉の推進方法・推進組織</p> <p>【3. 地域福祉の推進機関・サービス】 第16回～第18回 地域福祉の推進機関 第19回～第21回 地域福祉サービスの実際 第22回 地域における福祉サービスの評価 第23回 まとめ：地域福祉の推進機関・サービス</p> <p>【4. 地域福祉の計画・財源・今後】 第24回～第26回 地域福祉計画と地域福祉活動計画 第27回～第28回 地域福祉の財源 第29回～第30回 これからの地域福祉のあり方</p>		
教科書 参考書	教) 社会福祉学習双書編集委員会編『社会福祉学習双書 第8巻 地域福祉論—地域福祉の理論と方法』2009, 全国社会福祉協議会。		
評価方法	定期試験 (50点)、期間中に3回程度実施予定の小テスト (30点)、コメントカード・授業態度 (20点) を総合して評価する。		
事前準備学習 履修条件等	社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格の取得を目指すものは履修すること。		